

2017年度

学生が選ぶベストティーチャー賞

ベストコメント賞発表



2017年度「学生が選ぶベストティーチャー賞」に、ご投票いただいた皆様ありがとうございました。いただいた投票の中から、12件の投票理由を「**ベストコメント賞**」として選出いたしました。ぜひご覧ください。

受賞者の学生には個別に連絡し、賞品を贈呈いたします。

学生の理解度に合わせて、授業内容を柔軟に変化させ、分かりやすく、身になる授業を行なっていると思うから。また、授業後に学生の個人的な質問にも、納得するまで時間をかけて丁寧に対応し、講義内容のより深い理解を促進させていると考える。加えて、授業内でのアクティビティを通し、学生一人一人の性格を知り、学生同士の交流の場をつくり、さらに、講義内容の導入になっているため、学生が講義を理解しやすく、受け入れやすい構成となるよう工夫されていると常々感じるため。学生のことをよく観察し、考えられた講義をしている彼女は、学生にとってとても魅力的で素晴らしい先生であると強く思うため。

学生思い！

心理学の授業は内容や先生のやり方によって自分の興味や楽しさが変わってきます。その中でも、先生の心理学の授業は、身近で起こっている心理学を扱い、それを実際に日常生活で起こっていることに当てはめるので、とても面白いです。また、この授業では、毎回初めに「こころの準備」というものを書きます。これは、「前回の授業でやったことで何を覚えていますか？」という設問がありますが、それに限らず、自分が今悩んでいることや不安なことを書くと、次回の授業で先生が初めに匿名で読み上げ、それに対してアドバイスをしてくれます。授業で学生の悩みに応えてくださる先生はなかなかいないし、かつ、リラックスして授業を受けられるので、そんな先生を見て私は非常に感銘を受けました。

大学で、学生の悩みに
応えてくれる先生はな
かなかいない！

Best comment award

SNSを利用した工夫により、学生自身のモチベーション向上が学生の生のコメントとして感じられた点を評価！

この授業では授業中にリアルタイムでTwitterに投稿することで、先生に回答を頂けず、とてもおもしろい取り組みで、モチベーションもUPします。また、ゲスト講義も度々あるため、キャリアや組織の生の声を聞くことができ、とても有意義です。

癒しの効果◎、ユニークな工夫がなされている！



先生は極端研究の方なので、授業の前の時間にペンギンの群れの動画を流してくださいます。授業とは全く関係ありませんが、月曜5限ということもあり、可愛くてかなり癒されました。また気象の授業で作業が多く大変ですが、分からないことがあると詳しく教えてくださいし、出した課題はしっかりチェックしてくださいます。時々褒めていただけのため、もっと頑張ろうという気持ちになれます。優しく生徒想いな最高の先生です。

プリントは穴埋め形式で空欄がたくさんあるので覚える部分分かりやすい。その空欄は一人ずつ指していくので眠くならないような工夫をされていていい。しゃべりがてきぱきして理解しやすい。毎授業の最後に公務員の問題などがあり、どのような問題が出るのか、また、授業の復習になっていい。生徒の名前をすぐに覚えたり、コミュニケーションをたくさんとっていて生徒思いだと感じた。

工夫点が具体的に書かれている。最後の1行で学生の対して親身に接してくれる先生であることが伝わる！

理論と実践の両面からレクチャーしてくれた上に、随所に先生の工夫が見受けられたから。その分野に関する専門的な知識だけでなく、実際の企業でこれらの概念がどのように活用されているのかといった実態と照らし合わせて授業が進められていたし、授業内のグループワークを通じて色々な人の意見を知ることができ、視野を広げる事ができた。単なる知識のインプットに留まらず、意見のアウトプットや、社会の実態も加味された授業展開は非常に有意義に感じられたし、今後の人生にも十分に還元できる内容に感じられた。

学生の理解を深めてくれる仕組みがある！

Best comment award

疑問を持つ楽しさを教えてくださったからです。先生の財務会計論の授業では、毎回質問カードを配り生徒からの質問を受け付けてくださっています。これまで私は授業を受ける際、内容を理解することが精一杯で質問をするなどもってのほかでした。しかし初回の授業で先生が「『貸借対照表はなぜ左に資産、右に負債・純資産を書くのか』という質問でも構いません。ぜひ調べてもわからない『なぜ?』を質問してください」と言ってくださりました。それまでは、質問とは授業内容を理解した上で難しいことを聞かなければならないものだと思い込んでいたのですが、このような根本的な疑問でも構わないことに気がつき、気軽に質問できるようになりました。それからは「なぜ?」を探すために授業を聞くのが楽しくなったり「なぜ?」を意識して勉強するようになり、より深く学習できるようになりました。

気軽に質問ができるようになり、疑問を持つことの大切さに気付けた様子が伺える！

我々の日常生活に起こる社会的問題（虚言、結婚、医療倫理、平和論）に関して様々な哲学的学説を幅広くかつ中立に教示している。時折挟む自虐風の雑談も含蓄があり、聞いていて勉強になるし、何よりも楽しい。学生の質問にも丁寧に答えてくれて、授業の最初には全体で必要だと感じられた質問に関しては新しい知識を教えてくれたうえで詳細な解説をしてくれ、その解説にくどくどしたものがない。社会学を学びに法政に来た人は、まずこの授業を取ったうえで、問題を提起できれば、根本の問題解決の糸口になるに違いない。

学ぶこと＝楽しみと
感じさせてくれる授業！

どちらかといえば、全く興味の無い分野の学問でしたが、春学期受講した方の勧めで履修しました。その授業は、とても丁寧にわかりやすいレジュメであり、説明も上手でいらっしゃり、今まで受講した授業の中で最も学習意欲を高められると感じたからです。先生は、とてもきめ細やかに生徒を気遣って下さいますし、寝ている生徒にはきちんと注意をしてくださるため、授業における環境が完璧でストレスフリーであることもとても素晴らしい点です。

先生の学生への熱い想いが、
上手く表現されている！



Best comment award

ここまで面倒見の良い大学教員に初めて会いました。多文化社会と人間は、国際文化学部とキャリアデザイン学部の学生が受けているため100人を超える大教室の講義です。しかし先生は提出した生徒ひとりひとりのレポートにアドバイスをくれます。レポートの書き方の細かい部分まで丁寧に教えてくれる講義はほかにはないので、後輩に進めたい授業です。熱心に取り組んでレポートを完成させることのやりがいを感じられます。この講義に毎回参加して先生の言う通りにレポートを進めれば提出前に徹夜をするようなことは無いですし、計画的に終わられるのでむしろ楽だと思います。身になると自信をもって言えます。

後輩へ勧めたいという想いが強く伝わってくる！

生徒とのコミュニケーションによるアクティブラーニングが非常に楽しく、なおかつ、今後のキャリアに対する思考力が高い次元に運ばれる目から鱗の21世紀型講義です。1限からでも行きたくなる、さらに、1日の始まりにふさわしい、脳を活性化させる講義。教授のみが喋り続ける一方通行な座学ではなく、教授と生徒の言葉のキャッチボールで成り立つ新スタイルな講義。

効果的なアクティブ・ラーニングが実践されていることが明確！

私は初回の授業を受けた時、取るか取らないかとても悩んでいました。しかし、今となっては取ってよかったと心の底から思っています。授業では、リアクションペーパー(A4サイズ1枚)にびっしり書き、グループワークやプレゼンを行ったりとさまざまなことを行います。私は、今までこのような授業を取ったことがなく、自分の苦手なものばかりだと思い、取るのをためらってしまいました。しかし、先生のおっしゃることや先生の目の輝きに熱意を感じ、授業を履修することを決めました。授業は、最後まで大変ではありましたが、その分自分が成長したと感ずることができました。先生には、とても感謝しています。先生に出会っていなかったら、今の自分はないと思います。ありがとうございました。

学生の人生にも影響を与える魅力的な授業！

